

シミュレーションとデザイン

2014年12月11日（木） 14:10～17:30

数値シミュレーションは計算機が特に優位性を持つ分野として研究され、既に長い歴史を持っている。しかし計算速度の大幅な向上、経済的なソフトの登場、そしてBIMを介したデータ移動などによって活用の頻度と試行錯誤フィードバックが飛躍的に増え、ついにデザインの方法と結果を変えるところにまで到達している。シミュレーションによるデザインによって生まれた最近注目の建築の実例をもとに考える。

モデレータ／趣旨説明

池田靖史（慶応義塾大学）

1. 招待講演

大量生産からマスカスタマイゼーションへ

山梨知彦（日建設計）

2. 招待講演

構造デジタルエンジニアリング（仮題）

金田充弘（東京藝術大学）

3. 招待講演

ドイツの建築物燃費計算プログラムの日本への適応

松尾和也（松尾設計室）

4. 討論

参加費等はこちらをご覧ください。

→ <http://www.ajj.or.jp/jpn/symposium/2014/141211-12.pdf>